

事業評価書

補助事業名	防災に関する事業:はしご付消防自動車維持(基金)								
補助事業者名	木更津市長								
実施場所	木更津市内								
補助事業の成果の目標	現在、木更津市における高層建物の災害時において、市民を救助し安全を確保するには、はしご付消防自動車は欠かせないものとなっている。 当市のはしご付消防自動車は購入後、既に20年以上経過していることから、車体、エンジンに著しい性能低下や劣化により、修理や部品交換も年々多くなっており、現有車両をそのまま配備し続ければ、即座に万全な対応ができない状況になる恐れがある。 そこで、当市で保有するはしご付消防自動車について、修理、点検、更新を基金化することにより、常に万全な状態で災害に対応できる消防体制とし、市民が安心して暮らせる環境の確保を図る。 【参考指標】 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：166棟（H27. 4. 1現在） 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：167棟（H28. 4. 1現在）								
補助事業の内容	はしご付消防自動車の修理、点検、更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成26年度から平成30年度 基金の処分:平成27年度から平成35年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	26	50,742,000				50,742,000	0	50,742,000	0
	27	63,393,000				63,393,000	299,160	113,835,840	299,160
	28	65,402,000				65,402,000	6,187,430	173,050,410	6,187,430
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 保守点検、車検整備等を実施するとともに、昨年度の保守点検で指摘された事項に関しての修理も実施することができた。 消防隊員が記録している活動報告書や日々の整備日誌に基づき、消防隊員に聞き取り調査を実施したところ、「修理を実施したことにより安全性が向上し、支障なく活動が行える。」等の意見があったことから、万全な状態で災害に対応できる消防体制で、市民が安心して暮らせる環境が確保されていると考える。 〔地域住民への周知の実施状況〕 市広報誌及びホームページ上で平成28年度実施した事業の概要や事業に要した額等を記載。								
事業の改善措置及び今後の対応	平成28年度の保守点検で交換の必要があると指摘された部分に関しては、平成29年度事業として対応していく予定である。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	—								